



# 徳丸城



チャウド（調度）と呼ぶ最高所の曲輪（主郭）

所在地：石川県鹿島郡中能登町徳丸  
 別称：おたや堡  
 立地：尾根頂部、標高150m  
 城主：長連龍  
 時期：戦国  
 見学時間（参考）：約1時間30分

眉丈山の尾根筋を利用して、小字清四郎山の山中に築城される。城域西側を徳丸峠が通る交通の要衝。以前は徳丸観音堂背後の谷筋を登り西端の曲輪に至る道（搦手か？）を登っていたようだが、現在整備された登城道は途中から大手に入り火の見と呼ぶ曲輪に着く。

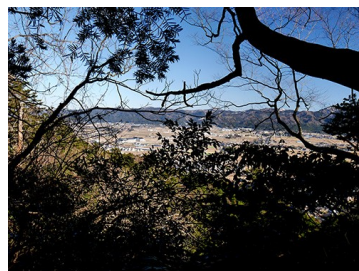


徳丸観音堂



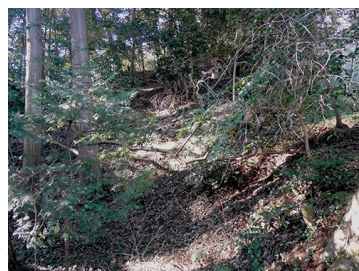
観音堂横の登城口  
登城道は火の見に至る

天正12年（1584）9月、加賀の前田利家と越中の佐々成政の軍事的緊張が高まる中、越中守山城主の神保氏張が土肥政繁、狩野将監ら兵3千を率いて能登に進攻した。金丸城の長連龍と徳前川原で激突し神保軍は越中に退却したと長家家譜に記している。しかし、同時期に氏張は末森合戦に参戦して日付が違うのか、佐々方の荒山城主であった袋井隼人が攻めてきたのを誤認したのか、同年連龍は田鶴浜に居城を移していることもあり、末森合戦前後の前田領の混乱も影響しているのか。



主郭付近からの眺望

能登部町誌は、地元の伝承として清四郎山中に一の丸、火の見、フロヤシキ、チャウド、バセンバ（馬責場）と称する曲輪を記す。チャウドには軍用器が埋まると伝わる。谷を挟む北東方の愛宕山にも連龍が砦を築いたと伝承され、連携して能越



フロヤシキ（風呂屋敷）



両側の堀切で尾根道を狭める



火の見に城名標が建つ

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ  
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）  
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9  
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943  
 E-MAIL. contact@j-sampo.com  
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>